

図書館だより

新着図書ピックアップ



ホッとひと息、本とひと息

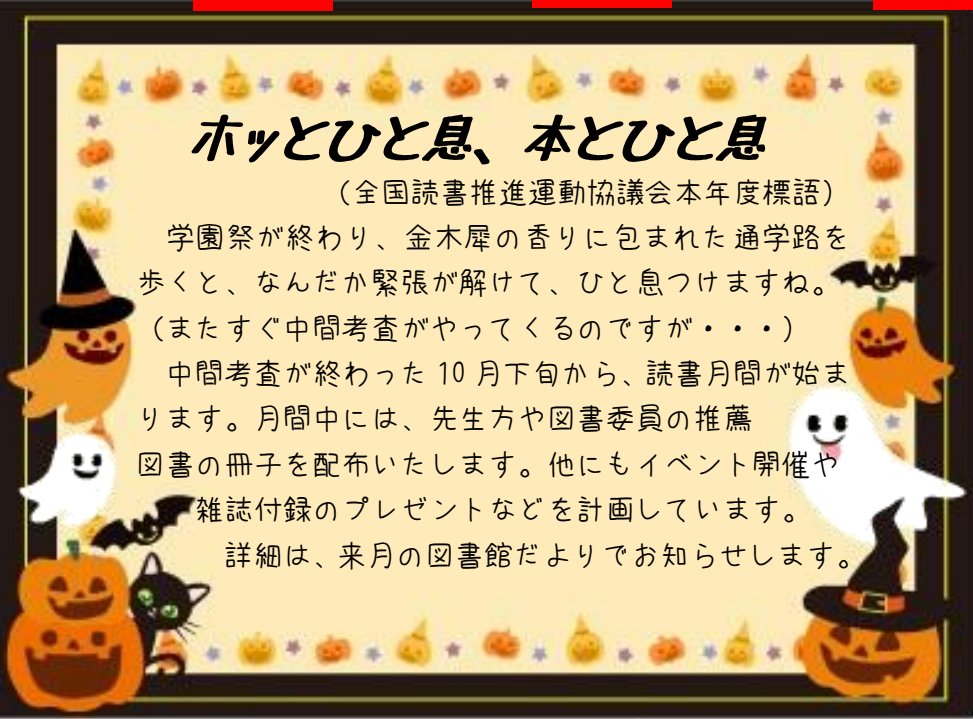
(全国読書推進運動協議会本年度標語)

学園祭が終わり、金木犀の香りに包まれた通学路を歩くと、なんだか緊張が解けて、ひと息つけますね。

(またすぐ中間考査がやってくるのですが・・・)

中間考査が終わった 10 月下旬から、読書月間が始まります。月間中には、先生方や図書委員の推薦図書の本子を配布いたします。他にもイベント開催や雑誌付録のプレゼントなどを計画しています。

詳細は、来月の図書館だよりでお知らせします。



『自分はバカかもしれないと思ったときに読む本』
竹内薫 / 河出書房新社

「バカがいるのではない、バカはこうして作られるのだ！」(本文より) 大人になっても頭を柔らかくして考えられるように中高生の今のうちに、読んでおいてください。



『おもしろい世界の風刺画』
茨木正治 / オークラ出版

政治や出来事、人物などをたった 1 コマで表現している風刺画。1 コマの絵から、世界史を学べるだけでなく、人や社会には、いろいろな物差しがあることを、感じ取れることができます。



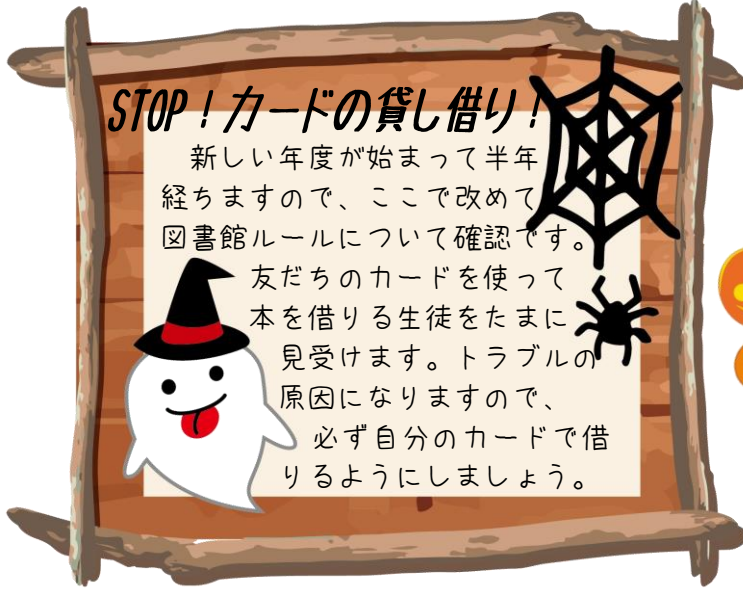
『日本で 1 日に起きていることを調べてみた』
宇田川勝司 / ベレ出版

「1 日に結ばれるカップルと別れるカップル」「1 日に日本国内で送受信される迷惑メール」「1 日に増える日本国の借金」たくさんの 1 日が調べられています。

STOP! カードの貸し借り!

新しい年度が始まって半年経ちますので、ここで改めて図書館ルールについて確認です。

友だちのカードを使って本を借りる生徒をたまに見受けます。トラブルの原因になりますので、必ず自分のカードで借りるようにしましょう。



行方不明本・・・

次の 2 冊の本が、現在行方不明となっています。移動教室先や、図書館内などで(館内は、司書もしっかり探しているのですが・・・)もし、見かけたらお知らせください。予約が入っているのですが、貸出すことができず困っています。

『コーヒーが冷めないうちに』
『干本桜』(文庫)



科学道 100 冊!

理化学研究所から、科学に関する本 100 冊の寄贈をいただきました。「科学の面白さ、深さ、広さを伝える 100 冊」として、選ばれた本です。今月中に 100 冊を登録し、特設展示コーナーを設けます! これらの本に触れたことをきっかけに、文京からノーベル賞候補者が出るかもしれませんよ。

